

デジタル快適超精密義歯〈パリムデンチャー〉治療の流れ

初診

約3時間

①初診申込→②初診日時相談（約1ヶ月以上先の日程となります）・確定→
③初診受診 〈内容〉カウンセリング・口腔内診査・CT撮影・コンサルテーション

*歯が残っている方

拔牙

「静脈内鎮静法」による無痛拔牙・・・口腔外科専門医のクリニックをご紹介します
寝ている間に痛みも感じずに拔牙が完了するので、心身ともにストレスの少ない拔牙方法です。
20本以上抜く方でも1回で拔牙が完了します。（口腔内の状態や身体的条件により2回となる場合や
実施できない場合もありますが、事前に口腔外科の先生に相談しますのでご安心ください。）

①治療
1日目

約8時間

拔牙から最短翌日の朝より〈特許・治療用義歯〉の作製を開始します。一般的な歯科医院
では数回の通院が必要な治療工程(1)型取り(2)咬み合わせの記録(3)仮合わせを**1日**で行い
ます。夕方に仮合わせを行い1日目が終了します。治療期間中は診療室併設の個室休憩室
にてお過ごしいただきますので、合間の待ち時間も1人でゆったりできます。

②2日目

約2時間



翌日午後に〈特許・治療用義歯〉が完成し、お渡しします。
完成した上下総入れ歯は裏面を削る調整が無いほどにピッタリで
きちんと咬み合い、見栄えも自然です。

ここから〈咬み合わせ治療〉が始まります。

治療へのご理解・ご協力が治療の結果を左右します。

③初回
リライン

約4時間

約2週間後

ここまでの約2週間は拔牙後の歯茎の炎症が治まる治療期間でもあります。
それに伴い、総入れ歯はガタつき外れやすくなりますので、総入れ歯と歯肉の間の
隙間を埋める処置【リライン】を行います。
このタイミングでのリラインは**歯茎の治りに合わせた修正**です

④精密
咬合調整

約2時間

約1ヶ月後

特許・治療用義歯の使用により顎関節のズレが発生します。（＝ズレが治っている）
【精密咬合調整】ではその日の顎関節のより良い位置に総入れ歯の歯を精密に正確に
微調整します。その際には特許「義歯製作時の咬合調整器具」を使います。
総入れ歯の裏面は調整していないにも関わらず、処置後は「吸着が増した」と感じる
方が多くいます。

この精密咬合調整は初回から最終リラインまでは毎回行います。

⑤リライン

約3時間

約1ヶ月後

特許・治療義歯を使い始めて3-4ヶ月経過の⑤以降になると機能する総入れ歯に
必要な3つの条件の内の2つ**(1)歯肉ピッタリ (2)顎関節の正しい位置でキチンと咬み合う**
がほぼ揃っているの、「なんでも食べている！」という患者さまが多いです。

⑤と⑦では**骨の治りに合わせた修正**となるリラインを行います。

⑦最終
リライン

約3時間

約1ヶ月後

咬み合わせ治療のための〈特許・治療用義歯〉は
最終のリライン・精密咬合調整を終え、2つの条件を
満たしましたが、3つ目の条件

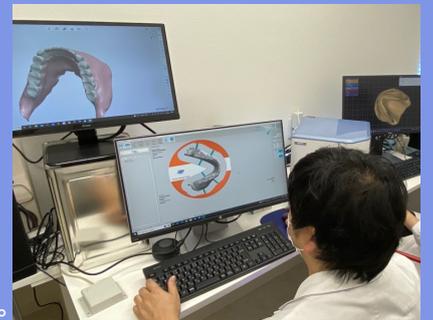
(3)フルバランスドオクルージョン

は特許・治療用義歯では実現することができません。

ここからは、(1)(2)(3)全ての条件を満たした

最善の総入れ歯の作製に入ります。

「ゼブリス」で下顎の3次元運動を計測し記録し、
総入れ歯を設計するソフトに取り込み、患者さま
からの要望も考慮し28本の人工歯を1本ずつ設計します。



⑧ゼブリス
スキャン

約3時間

約1ヶ月後

デジタル快適
超精密義歯完成

約2時間

2つめの義歯 完成・お渡し
機能する総入れ歯の3つの条件が揃った最善の総入れ歯
【デジタル快適超精密義歯 パリムデンチャー】

定期点検

デジタル快適超精密義歯お渡しから1ヶ月後、その3ヶ月後、その6ヶ月後の点検は最初の
治療費に含まれています。その後は1年に1回の任意の定期点検（有料）となります。